

つて往のであります、ですから此理に因て、弱い人は少し營業が不足しても、直ぐにげつそりと憔悴するのでありますが、肥つて居るものは多少營業が不足しても平氣で居ることが出来るのです。

(完)

マニラの話

小寺みさを

珍らしい服装

マニラの婦人の衣服は一寸他の國々の服と異つて居りますから御存知ない方が多いでせうと思ひます私など色々話には聞いて居りましたが殆ど想像が付きませんでして洋服でもなし支那服でもなし彼地特有な服装で一寸見ますと恰も蟬の羽子を廣げたようなもので其色が如何にもハデヤかですからお婆さんが赤いきものを着て居るのを見ますと私どもの目には一種異様に感じられますそれですからわけて嬢様たちの集まるダンスの會などに

参りますと實に其花やかな事とても日本の丸帯紋付きとは競べものになりません。

上衣と下衣と別々

それではどんな服かと申すすと日本の着物のように肩からはをればからだ全體が包まるといふのでなく矢張り洋服のやうに上衣と下衣と別々に着るのです。

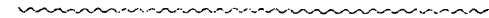
上衣とはカミサとバニエロとの二つからなつて居りまして其カミサといふのは袖と胴と付いたものでバニエロといふのはカミサを着た上に肩からかけて置くもので御座います。(圖略す)

初めて見ますと誠にをかしい物で御座いますけれども不思議なものでだん／＼見馴れましたら反つて優美なよい服装に見えるようになりました衿は大きく開いて居りますし袖も廣く出来て居りますから涼しくて如何にも着心地がよう御座いますこれを着ます前にはカミソンといつて肌着を着ますこれはキヤラコで作る美しいレースで飾を付けて置きます洋服の肌着と同じ形のもので御座います。

涼しい着物

それで此カミサもバニエロも糊で丁度紙のやうにピンとさせて置きますから少しもからだにベタベタ付きませんでそれにとこもゆつたりとして居りますから風通しがよくて誠に涼しい御座いますバニエロは丁度一ヤール四方位なものを疊むで肩にのせて置きますので馴れない内は邪魔で仕方がありませんがこれが一寸お愛嬌になるのです其の背加減によりつまり粹にも不粹にもなりませうで娘さんたちはいろ／＼鏡に向つて意匠を凝らして居ります。

地質はどんなものか
年中暑いところですから地合は極々薄い物を用ひます普通用ひられて居りますのはシナマイといつて彼地で取れます芭蕉の織維で目を荒く織つたものでサラ／＼して居りますから誠に着心地のよいもので御座いますこれより上等の物はフシとかレングとか色々ありますが之等はバインナップルの葉の織維で織つた物ですから絹の如き光澤がありまして羽二重のような薄いものですからピンと糊で張つてありまして模様は浮織のも又縞物もありま



すが正装に用ひますには無地の時色とか水色とかそれ／＼好みな色に繪をかゝせませう其繪が實に簡短なもので重に草花ですがそれに一面に金箔や銀箔や青赤などの粉をふりかけて置きますから夜會の折などは皆此金銀箔が電氣に映じて實に見物で御座いますそれ故此品は洗濯がきくませんから大事にしてをります又普通以下の品では木綿で絹のように織つた物や又色々目に荒く織つてありまして染形や縞物であります一體に此國の人は横縦縞を好みますこれ等はフイリツピン人が製造するのではなくて多く獨乙や支那から輸入されて居りますマニラ市には織物の工場は一つも御座いませんし又田舎に行きましても機を織つて居るものはメツタに見受けませんたゞイロー／＼市（之れはマニラに次ぐ都會）に一二の織物工場がありますとか聞きました。

スカーツに似た下着
此下着は私がマニラに參りました當時はまだスペイン時代の風習が残つて居りました餘り變化がなくスペインの婦人服に似た後が長く二三尺引する

ようになつて居るのが普通でしたが近頃は米國の新スタイルをまねているに仕立ますこれをサヤと申す場合は大抵更紗の大柄な模様のある丁度日本なら夜着に用ひます様な柄を用ひますがシナマイなどで作つて居る人も御座います更紗が一番廉價ですから上中下の別なく用ひられますこれも皆獨乙又は英國の品で御座います絹は彼地でも養蠶を致しませんからすべて輸入品ですから非常に高價で御座いますから結婚の時の服に用ひます位で平素ドンナ資産家の娘さんでも絹のサヤは用ひません此結婚服にも普通は香港あたりから入ります縞子を用ひます近頃ミシン刺繡が流行で盛に刺繡物を用ひます。

老人でも赤い衣服を着る

色合は其人々の好みにまかせてありますから赤いものでも平氣でいゝお婆さんが着て居りますので初めて見ました時は餘り日本と異ひますのでをかしく思はれましたすべて未開の國の人は赤といふ色を好むと聞いて居りましたが全く赤いツボンをはいた男が畑など耕して居りますのを見ました時

は何となくをかしく思はれました。

小さい子供が眞黒な着物を着て居る

のを見受けますこれは喪中を表はして居りますので親兄弟の喪の時は三年間黒を用ひます此時は持つ扇からハンカチーフまで眞黒ですから小さい子供などには可愛そうだと思ひますが習慣ですから仕方がありません其他は一ケ年とか一ケ月とかそれ／＼定まつて居ります。

子供のきものは異ふ

以上の服は大抵十五才以上にならなくても用ひませんでそれまでの子供は洋服を用ひます其子供の服のうちでこれは子供には樂でいゝと思ひましたのがありますからいづれ委しく御話し致しませう

非常に飾慮を尊ぶ

一般に男でも女でも非常に虚榮心が強くとへとなな小さな家に住んで居りましても必ずダイヤモンドの指環か耳環を持つて外出の時は飾り立てますそれ故ダンスの會などの時は前に申した通りピカ／＼光るハデやかな衣服を着てダイヤの耳環指環や腕環をはめ其上衿には非常に立派な首飾を致

しますから、それは、綺麗に見えます矢張り芝居見物にも正装で出かれますからあちらでも日本のやうに一年に一度か二度しか手を通さないでしまつて置くといふ事なく其上此服は一年中何月でも用られますからそんなに数が入りませんからつまり着物よりも金屬寶玉の方を尊びて居ります。

虚榮心の強いのは女子計りでない。マニラの青年は日本の青年とちがひ非常になり飾り立てます第一に立派な帽子を被り高價な靴を履き眞白な服を附けて必らず子指にはダイヤが光つて居ります此様にみなり計り飾りにて居りますから殆ど頭の中はゼロです一心に勉強すると早く死ぬからとて學校も中途でやめて遊びで計り居ります中には伶俐な人もありますから日本や米國へ留学して勉強する人々もありますが大方マニラに居る學生はなまけ者が多いようです全く彼地でも非常に勉強しますと必らず病氣になります私共へもよく病人が見えましたが其方は皆學校の秀才ばかりでした實際余り熱いものですから只暇さへあれば寝る事ばかり考へて居ります此しやれるのは學

生計りでもなくボーイから馭者までそうなので私どもが使つて居りましたボーイなどは主人よりも立派な帽子を持つて居りましたし又月給全部を出して靴を買つたりして居りました。

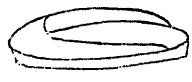
土人の服は支那服と同じもの昔から男子の服は支那人の服と同じものを用ひて居ります上衣をカミサデチノと申て之れは支那人の上衣といふ意味なので御座います之れはフイリツピンへは一番先きに支那人が入り込みました爲めせうと思ひます。

下駄を履くのは日本人より外にないこと、思つて居りましたらマニラの人是一種異様な下駄を履きます左の圖を御覽下さい。

第一 婦人の下駄に黒の木の皮を塗る。底が好く居る。裏に白の口黒りす。



第二 婦人の下駄に黒の木の皮を塗る。底が好く居る。裏に白の口黒りす。



第三 婦人の下駄に黒の木の皮を塗る。底が好く居る。裏に白の口黒りす。



第一圖のはパキヤと申て之れは婦人が臺所や又下女などがマーケツトへ買物に行く時とか又普通の人が履いて外出致しますが正装の時は用ひません第二圖のはコルチョコと申て之れは婦人の外出用に限られて居ります厚さは僅四分位しか御座いますせんが彼地でも余り往來を歩きませんで大方は馬車に乗りますから雨降りでも之れを用ひます初は之れを履いても少しも歩けませんでしたが馴れましたら平氣で履けるようになりましたハナラがないのですから一寸六ケしう御座いますホンノ指先の所に引つかゝるだけですから歩けそうもありませんが不思議なもので馴れると履れます珍らしい御座いますから少し持ち歸りましてお土産に差し上げましたがどなたも履る方が御座いませんので第三の之れもパキヤと申て之れは男子用なのですから生地のみで上も皮で出来て居ります

下駄を頭にのせて歩く

をかした事には雨が降つて参りますと直ぐに此下駄を脱いで頭の上にのせて歩きますいつかまだ私があちらに馴れません時分に向ふから婦人が何か

黒い物を頭にのせて両手をふりながら歩いて参りますその頭の上の物が遠くで見ますと何だかサツパリわかりませんでしたでしたが近くで見ましたら黒い洋傘を一本真直に頭の上ののせて來るのではありませんか此様にあちらの人は何でも頭の上に乗せて歩きます。

室内では何を履くか

と申ますとそれはチテラスと申てあのスリパの事ですが彼地でも中に立派なスリーパーが出来ますコルチョコに似て底がもつと薄く出来て居ります上は色々な美しいブラシ天で出来て居ります之れは男女とも同じ形で只大きいと小さいとの別があるだけで御座います男子は外出用にも致します

近年女子が靴を履く

以前は婦人は決して靴を用ひませんでしたでしたが近頃は年頃の娘さんは皆靴を履きます之れは芝居見物にダンスの時だけのやうで御座います男子はカミサデテノを着ました時も晴天の時はチネラスを履きますそれが赤い色などを平氣で用て居ります

婦人は帽子を用ひない

婦人の髪は極簡短で大低の人は前も後も出さずに束に只頭の真中へ丸く結びで置きますそして櫛を一枚さす位なもので花をさすのでもなくリボンをさすのでもなく誠に淋しいもので御座います帽子は昔から用ひませんでしたやうで御座います近頃は追々米國式が流行致しまして髪も髮結に結ばせたり致しますあちらの髮結は誠によいお金をとります一度が大抵五圓位です上馬車を以て迎ひに參らなくては來てくれません毎日と定れば二圓づゝだとか聞きましたそれであちらではチャレて居るのがいゝのですから焼き饅ですつかりチャラせていろ／＼其人に似合ふように結びますそしてほんとのローズの花などにリボンをあしらつてさすようになりました。

鍵を腰にさげて自慢する

あちらでも衣服はすべて戸棚に入れますそして其戸棚の鍵を銀で作らせて環に通して腰に下げますそれが多い程きものが澤山あるといふ自慢だそうで御座います。そして外出する時は必らず扇とハンカチーフとを

持ちます。

風呂敷包を持つて歩くものは一人も無い

マニラの人は男女をとはず荷物は必らず頭の上に乗せて歩きます尤も上流の人は頭の上になぞ乗せませんで皆馬車で往來致しますから馬車に乗せて居りますそしてすべて買物致しますと紙に包んでくれますからそれを馬車にのせますが馬車に乗れぬ人はチャンと頭の上に乗せて歩きます何か頭にのせて歩きます時は両手と腰とをユラ／＼と振て調子をとつて歩きますそれ故それらの婦人は髪を下の方に結んで居りますそして中心を取る爲めに自然姿勢がよくなつて居りますからお婆さんでも直ぐになつて居り腰をかゝめて歩いて居る人を見たり事が御座いませぬ風呂敷包を持ちませんので大笑ひ致した事が御座いますそれはたしか日本の練習艦隊がマニラに入港致しました時でした或士官が宅へ御出で下さつた時にいろ／＼とマニラの御話しがありました其時に「奥さん、でも何か風呂敷に包んで持つて歩いてはいけませんのですか」つておつしやいますから私も不思議な御尋ね

だと思ひましたから「なせですつて 伺つたら「昨日上陸して市中を見物したら誰一人でも風呂敷包を捧げて日本のように歩いてる人がないからこれはキット風呂敷を持つてはいけないのかと思つてわざ／＼之れを新聞紙に包んで来ました」つてお船の御土産を頂きましたから「別にそんなきまりはないのでせうけれども 乗り此土人は布に何か包むといふ事を致しませんようで御座います」と申上たら「そうですか私も不思議だと思つた」つて大笑ひ致しました尤も支那人は太物などを風呂敷に包んで肩にかついで市中を賣つて歩きますが全く土人には見受けませんから御尤もだと思ひました。以上はたい私が思ひ出したまゝを書きつらねましたからさぞ御わかりにくい事と存じますどうぞ御判讀下さる様に願ひます。



スープの話

とよ子

二八

スープは鳥、獸、魚介若しくは野菜等をよく煮出して其物に含まれる滋養分を溶解させたものなれば其等の煮出したる後の物は全く價値なき廢物となる、さればスープは最も滋養多き汁なれば虚弱の人或は病人等の食物に適す。扱最も滋養あり且美味なるスープを得んとするに其一種の肉よりも多種の肉類を混合するを好とす例へば

一牛肉一ポンドに鳥、七面鳥、牛、羊等の骨付き肉を碎きて之れに水一クオート即ち六合の水を入れて煮出したるもの。

一牛肉一ポンドに適宜の羊肉、犢肉にハムの骨を碎きて水を六合入れて煮出したるもの。

などは最も上等の製法なりとす、何故に骨付きの肉を用ふるかといふに骨付肉にはスープに必要な成分の膠質に富めるが故なり。